

別記様式第1号の2の2の2の2（第4条の2、第51条の11の3関係）

統括 ☒ 防火
 ☐ 防災 管理者選任（解任）届出書

①〇〇年〇〇月〇〇日

②名古屋市〇〇消防署長 殿

管理権原者 ③
住 所 名古屋市〇〇区〇〇町〇番〇号
氏 名 〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 000-000-0000

④
下記のとおり、統括 ☒ 防火 管理者を選任（解任）したので届け出ます。
 ☐ 防災
記

防火 対 象 物	建 築 物 そ の 他 の 工 作 物	所	在	地	⑤ 名古屋市〇〇区〇〇町〇番〇号							
		名	称			⑥ 第一〇〇ビル 電話(000)-000-0000						
		用	途			令別表第1	⑧ (16) 項イ					
		種	別			⑨ ☒ 甲種 ☐ 乙種	収容人員	⑩ 70人				
統 括 防 火 ・ 防 災 管 理 者	選 任	氏名（フリガナ）			⑪ 名古屋 太郎(ナゴヤ タロウ)							
		住			所			⑫ 名古屋市△△区△△町〇番〇号				
		選			任			年 月 日		⑬ 〇〇年〇〇月〇〇日		
		資 格	講 習	種	別			⑭ ☒ 防火管理 (☒ 甲種 ☐ 乙種)		☐ 防災管理		
				講 習 機 関			⑮ 名古屋市消防局長					
				修了年月日			⑯ 〇〇年〇〇月〇〇日		年 月 日			
		格	そ の 他 ⑰				□令第3条第1項第()号()		□令第47条第1項第()号			
							□規則第2条第()号		□規則第51条の5第()号			
		解 任	氏			名			⑱ △△ △△			
			解			任			年 月 日			〇〇年〇〇月〇〇日
解			任			理 由			異動のため			
そ の 他 必 要 事 項												
受 付 欄※					経 過 欄※							

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。
3 統括防火・防災管理者の資格を証する書面を添付すること。
4 ※印の欄は、記入しないこと。

【統括防火・防災管理者選任(解任)届出書 記入要領】

項目		記入要領	
① 年月日		届出年月日を記入します。	
② あて先		当該防火対象物等を所轄する消防署長あてとします。	
③ 届出者		当該防火対象物の管理について権原を有する者の住所、氏名、電話番号を記入します。 法人の場合は、法人の住所、名称、代表者の職、氏名、連絡先を記入し、個人企業の場合は、住所登録をしている住所を記入します。	
④ 届出内容		口印のある欄については、該当の口印にレを付けます。	
は 建 築 物 そ の 他 の 工 作 物	⑤ 所在地	当該防火対象物の所在地を記入します。	
	⑥ 名称	「〇〇ビル」、「〇〇株式会社〇〇工場」等、当該防火対象物の名称及び電話番号を記入します。	
	⑦ 用途	当該防火対象物の用途を記入します。	
	⑧ 令別表第1	消防法施行令別表第1に掲げる用途区分を記入します。、	
	⑨ 種別	消防法施行令第3条の防火対象物の区分に応じ、該当する印にレを記入します。	
	⑩ 収容人員	消防法施行規則第1条の3「算定基準」により算定した防火対象物の収容人員を記入します。	
防 火 ・ 防 災 管 理 者	選 任	⑪ 氏名(フリガナ)	防火・防災管理者となる方の氏名(フリガナ)を記入します。
		⑫ 住所	防火・防災管理者となる方の住所を記入します。(住所登録してある住所)
		⑬ 選任年月日	管理権原者から当該防火対象物等の防火・防災管理者として指名選任された年月日(又は届出年月日)を記入します。
		⑭ 種別	甲種防火管理新規講習等の講習を受講された方は、受講した講習の口にレを記入します。
		⑮ 講習機関	講習修了証に記載されている講習機関名を記入します。名古屋市消防局開催の講習の場合は、 (1) 2023年3月31日以前に受講された方は「名古屋市消防長」 (2) 2023年4月1日以降に受講された方は「名古屋市消防局長」と記入ください。
		⑯ 終了年月日	講習修了証に記載されている年月日を記入します。
		⑰ その他	講習の修了以外の資格により防火管理者を選任する場合は、根拠条文の口記入します。
	解 任	⑳ 氏名・解任年月日・解任理由	前記防火管理者選任欄の記入例を参照。解任理由は、具体的に記入します。 (例:退職、転勤 等)